

# 公の施設目標管理型評価書【指定管理者施設用】

施設名	三ツ森児童館		
管理者名	特定非営利活動法人 新潟県ワーキングウーマン・サポートセンター	指定期間	平成29年4月1日 ~ 平成34年3月31日
担当課	北区健康福祉課		
所在地	新潟市北区高森429番地		
根拠法令	児童福祉法		
設置条例	新潟市児童館条例		
施設概要	敷地面積 454.28平方メートル、延床面積235.67平方メートル 建物構造 鉄骨造平屋立て 主な施設内容（構成施設の内容） 児童クラブ室（38.88平方メートル）、図書室（20.25平方メートル）、遊戯室（95.58平方メートル）、事務室（20.25平方メートル）、他		

施設設置目的
児童に健全な遊びを与えて、その健康を増進し、及びその情操をゆたかにすることを目的として設置する。
管理・運営に関する基本理念、方針等
(1) 地域児童の健全育成と子育て支援の拠点として、地域社会と協力連携しながら、児童をはじめ地域住民に親しまれる児童館とする。 (2) 児童がいつでも自由に利用できる、安全で安心な遊び場としての機能を備えるとともに、児童に健全な遊びや情報の提供を行う。

視 点	評価項目	評価指標	実績	評価 ※	評価コメント ※
市 民	利用者数	地域の児童が恒常的に来館しているか。	年間利用者数 13,797人 うち児童数 8508人	B	年間利用者数は昨年とほとんど変わらないが乳幼児は50.8%増加した。
	地域との連携	地域コミュニティや小中学校との事業共同開催	54回	A	地域と連携しながら児童の健全育成を支援した。
	満足度	利用者(保護者)アンケートで「満足」が多数であるか	苦情はなく満足していた	A	満足度は高かった。
	要望、苦情への対応	要望、苦情への対応が速やかにされたか	目立った苦情無し。対応マニュアルは整備されている	A	要望があれば迅速に対応した。
財 務	管理経費の節減	管理経費の節減の取り組み、工夫が十分であるか	電気代が増加。ガス水道は微減。	B	LED電球を使うなど工夫は見られた。
業 務	仕様書等に定める事項の遵守	仕様書等に定める事項の遵守	仕様書に定める事項を遵守した。	B	適宜仕様書を確認しながら業務に取り組んだ。
	行事の実施	児童等を対象とした行事を計画どおり実施したか	確実に実施した。	A	学校の休みに行うなど参加しやすいよう工夫した。
	事故・災害発生時の対応	マニュアルの策定、訓練等の実施状況	計13回実施した。	A	避難場所の把握や避難方法の周知を徹底した。
人 材	職員研修の実施	内部研修の実施、外部研修への参加が十分であるか	20回延べ28人参加	B	すべての職員が研修に参加した。
	労働基準の充足	労働関係法令の遵守	遵守した。	B	

【評価基準】

A: 要求水準(評価指標)を達成し、かつその達成度・内容が優れている

B: 要求水準(評価指標)が達成されている

C: 要求水準(評価指標)が達成されていない

※評価について、「A」を付ける場合は「優れている点」を、「C」を付ける場合は「達成されていない点」を、「評価コメント」欄に明記してください。(評価指標が達成されているだけなら「B評価」で、その達成度や内容が優れていなければ「A評価」とはなりませんので、ご注意ください。)

指定管理者記載欄(アピールしたい事項・未達成項目への改善策等)

・乳幼児の発達や成長に合わせたプログラムを柔軟に作成、実施して子育て支援の為に親子遊びの内容の充実を図った。乳幼児親子の継続的な来館に繋がり母親同士が安心して子育てをする場や、仲間づくりの拠点となった。  
 ・子どもの居場所として放課後児童の育成支援の役割を果たした。自治会のいきいきサロンけやきの茶の間との共催事業で地域の高齢者とのふれあいを実施した。小学校と連携して出前講座を継続して実施。ボランティアの指導で樽太鼓を地域の祭りなどで発表し岡方の元気な子どもの姿をアピールすることが出来た。保護者とのコミュニケーションも積極的に取り、信頼関係を深めている。  
 ・館内外の清掃及び環境整備に心掛け、来館者が気持ち良く過ごせる環境作りに努めた。職員の内部研修を2回実施した。職員全員が参加し、遊びの指導のスキルアップをした。

所 管 課 に よ る 総 合 評 価 ( 所 見 )

昨年と比較して全体の利用者数は大きく変わらないが、母親同士のつながりや、遊びを通じて子どもの発達を促すようなものを実践した結果、乳幼児の利用が大幅に増加した。乳幼児親子の満足度を高めていくためにはどうすれば良いかを常に検討しながら実施しているのが結果に出てきたと考えられる。館の立地的特徴を活かした館外での活動により、普段利用しない児童が多く集まる行事を充実させ、継続した来館のきっかけづくりとなるよう取り組むなど、地域にいる児童が減少傾向にある中で、いかに年間を通じた利用をしてもらうかを念頭に活動した。地域の自治会とのつながりを大切にし、児童と地域の方との世代間交流を図っている。外部研修に積極的に参加し、児童のためになる施設にするため日々研鑽し、内部研修等を通じてフィードバックすることで人材育成に努めた。

# 公の施設目標管理型評価書【指定管理者施設用】

施設名	早通児童センター		
管理者名	特定非営利活動法人 新潟県ワーキングウーマン・サポートセンター	指定期間	平成29年4月1日 ~ 平成34年3月31日
担当課	北区健康福祉課		
所在地	新潟市北区早通37番地1		
根拠法令	児童福祉法		
設置条例	新潟市児童館条例		
施設概要	敷地面積 約500平方メートル、延床面積336.88平方メートル 建物構造 鉄骨造平屋立て 主な施設内容（構成施設の内容）集会室（44.50平方メートル）、図書室（38.70平方メートル）、体育遊戯室（145.76平方メートル）、事務室（18.45平方メートル）、他		

施設設置目的	
児童に健全な遊びを与えて、その健康を増進し、及びその情操をゆたかにすることを目的として設置する。	
管理・運営に関する基本理念、方針等	
<p>(1) 地域児童の健全育成と子育て支援の拠点として、地域社会と協力連携しながら、児童をはじめ地域住民に親しまれる児童館とする。</p> <p>(2) 児童がいつでも自由に利用できる、安全で安心な遊び場としての機能を備えるとともに、児童に健全な遊びや情報の提供を行う。</p>	

視 点	評価項目	評価指標	実績	評価 ※	評価コメント ※
市 民	利用者数	地域の児童が恒常的に来館しているか。	年間利用者数 17,016人 うち児童数 10,741人	B	乳幼児の利用が 61.7%増加した。
	地域との連携	地域コミュニティや小中学校との事業共同開催	40回	A	地域と連携した活動 を充実させた。
	満足度	利用者(保護者)アンケートで「満足」が多数であるか	苦情はなく満足していた。	A	満足度は高かった
	要望、苦情への対応	要望、苦情への対応が速やかにされたか	目立った苦情無し。 対応マニュアルは整備されている。	A	要望があれば迅速 に対応した。
財 務	管理経費の節減	管理経費の節減の取り組み、工夫が十分であるか	電気代は減少。 ガス・水道代は増加。	B	こまめに電気を消す などして節電に取り組んでいた。
業 務	仕様書等に定める事項の遵守	仕様書等に定める事項の遵守	仕様書に定める事項を遵守した。	B	適宜仕様書を確認しながら業務に 取り組んだ。
	行事の実施	児童等を対象とした行事を計画どおり実施したか	確実に実施した。	A	地域の中で児童が育つよう事業を工夫した。
	事故・災害発生時の対応	マニュアルの策定、訓練等の実施状況	計12回実施した。	A	12回のうち4回は消防署や、交番等と連携して行った。
人 材	職員研修の実施	内部研修の実施、外部研修への参加が十分であるか	12回延べ13人参加	B	すべての職員が研修に参加した。
	労働基準の充足	労働関係法令の遵守	遵守した。	B	

#### 【評価基準】

A: 要求水準(評価指標)を達成し、かつその達成度・内容が優れている

B: 要求水準(評価指標)が達成されている

C: 要求水準(評価指標)が達成されていない

※評価について、「A」を付ける場合は「優れている点」を、「C」を付ける場合は「達成されていない点」を、「評価コメント」欄に明記してください。(評価指標が達成されているだけなら「B評価」で、その達成度や内容が優れていなければ「A評価」とはなりませんので、ご注意ください。)

#### 指定管理者記載欄(アピールしたい事項・未達成項目への改善策等)

北区の児童館、児童センターの情報共有を図り、円滑に事業をおこなうことができた。地域や機関との連携、協力をいただき児童は様々な経験をすることができた。利用者にとって家庭と学校以外の安心して過ごせる安全な施設として利用していただいている。避難所となっているので緊急時に対応できるよう利用者と共に訓練を行ったり、避難所開設の準備も進めている。今年度は地域の方々のおかげで館外の草刈り、畑、花壇の整備、児童の遊びの関わり等にも積極的に関わっていただき地域力が向上してきたと感じている。また、子育て支援も定着してきて乳幼児来館が増加している。孤立した子育てで不安を感じないよう援助していきたい。地域の方が集い、児童の安心して過ごせる居場所になるよう研修等で職員のスキルアップも図りたい。

#### 所 管 課 に よ る 総 合 評 価 ( 所 見 )

親子遊びの企画や母親同士、あるいは先輩ママとの関わりを充実させたことが定着してきた結果、通常来館のきっかけとなり、乳幼児親子の利用者が大幅に増加した。地域に住む母親とのつながりで他の地域からの来館も増えた。集団遊びでは体育館では小中学生が一緒にできるものもある、幅広い年齢の交流ができる児童センターの強みを活かした取り組みを実施している。来館者が安心・安全に過ごせるように施設の決まりを掲示し、毎日不具合がないかの点検を行うなどした。第三者委員会を整備して苦情や要望に対応しやすい体制づくりをして、利用者がより安心して使える施設となるよう努めた。

## 公の施設目標管理型評価書【指定管理者施設用】

<b>施設名</b>	葛塚東児童館		
<b>管理者名</b>	特定非営利活動法人 新潟県ワーキングウーマン・サポートセンター	<b>指定期間</b>	平成29年4月1日      ~      平成34年3月31日
<b>担当課</b>	北区健康福祉課		
<b>所在地</b>	新潟市北区太田甲5762番地1		
<b>根拠法令</b>	児童福祉法		
<b>設置条例</b>	新潟市児童館条例		
<b>施設概要</b>	敷地面積 1,367.53平方メートル、延床面積353.89平方メートル 建物構造 鉄骨造平屋立て 主な施設内容（構成施設の内容）集会室（60.35平方メートル）、図書室（43.02平方メートル）、遊戯室（118.15平方メートル）、事務室（19.73平方メートル）、他		

施設設置目的
<p>児童に健全な遊びを与えて、その健康を増進し、及びその情操をゆたかにすることを目的として設置する。</p>
管理・運営に関する基本理念、方針等
<p>(1) 地域児童の健全育成と子育て支援の拠点として、地域社会と協力連携しながら、児童をはじめ地域住民に親しまれる児童館とする。</p> <p>(2) 児童がいつでも自由に利用できる、安全で安心な遊び場としての機能を備えるとともに、児童に健全な遊びや情報の提供を行う。</p>

視 点	評価項目	評価指標	実績	評価 ※	評価コメント ※
市 民	利用者数	地域の児童が恒常的に来館しているか。	年間利用者数 12,552人 うち児童数 7,593人	B	年間利用者数が17.9%減少した。小学3年生と中・高校生のみ微増。
	地域との連携	地域コミュニティや小中学校との事業共同開催	64回	A	地域の人材を有効に活用して実施できた。
	満足度	利用者(保護者)アンケートで「満足」が多数であるか	苦情はなく満足していた。	A	満足度は高かった
	要望、苦情への対応	要望、苦情への対応が速やかにされたか	目立った苦情無し。対応マニュアルは整備されている。	A	要望があれば迅速に対応した。
財 務	管理経費の節減	管理経費の節減の取り組み、工夫が十分であるか	電気・ガス代は微増。水道代は減少。	B	昨年度同様、節約を意識した。
業 務	仕様書等に定める事項の遵守	仕様書等に定める事項の遵守	仕様書に定める事項を遵守した。	B	適宜仕様書を確認しながら業務に取り組んだ。
	行事の実施	児童等を対象とした行事を計画どおり実施したか	確実に実施した。	A	地域の人材をうまく活用することができた。
	事故・災害発生時の対応	マニュアルの策定、訓練等の実施状況	計12回実施	A	回数を増やしたことで不備などを確認して改善できた。
人 材	職員研修の実施	内部研修の実施、外部研修への参加が十分であるか	12回延べ15人参加	B	すべての職員が研修に参加した。
	労働基準の充足	労働関係法令の遵守	遵守した。	B	

【評価基準】

- A: 要求水準(評価指標)を達成し、かつその達成度・内容が優れている
- B: 要求水準(評価指標)が達成されている
- C: 要求水準(評価指標)が達成されていない

※評価について、「A」を付ける場合は「優れている点」を、「C」を付ける場合は「達成されていない点」を、「評価コメント」欄に明記してください。(評価指標が達成されているだけなら「B評価」で、その達成度や内容が優れていなければ「A評価」とはなりませんので、ご注意ください。)

指定管理者記載欄(アピールしたい事項・未達成項目への改善策等)

留守家庭が多い地域性に合わせ、保護者が安心してわが子を行かせられる場所・児童が伸び伸びと過ごし心身の充足をはかれる場所となることを目指した。事業については1年を通じて月替わりで縄跳び検定や体力測定、百人一首大会、けん玉検定などを設定し、継続して挑戦し児童が身体・知力共に自己を高められる活動を取り入れた。利用者のニーズに合わせ、体験活動を多く実施。地域の方と協力し伝統行事や世代間交流行事を開催し児童と地域がつながるよう努めた。低学年の利用が主でもあり、今後も児童の安全に留意し運営していきたい。

所 管 課 に よ る 総 合 評 価 ( 所 見 )

昨年と比較して利用者数が減少した分、企画の質に力を入れた。継続事業の中で育成したい力を設定し、学校の授業での実施期間と重なるように重点的に企画をして取り組んだ。乳幼児の行事では、ものづくりや独自性の高い企画は、近隣の施設等でPRしたこともあり多くの参加を得ることができた。常に情報収集をすることで、地域の人材を見つけ、密に連携を取りながら行事の内容を充実させた。今年度から昼食の持ち込みを可としたことで、長時間の滞在が可能になり、児童が幅広く活動できるようになった。これに合わせて、昼食づくりの事業なども実施することで活動の幅が広がった。



# 公の施設目標管理型評価書【指定管理者施設用】

施設名	豊栄児童センター		
管理者名	特定非営利活動法人 新潟県ワーキングウーマン・サポートセンター	指定期間	平成29年4月1日 ~ 平成34年3月31日
担当課	北区健康福祉課		
所在地	新潟市北区東栄町2丁目14番26号		
根拠法令	児童福祉法		
設置条例	新潟市児童館条例		
施設概要	敷地面積 2,094,87平方メートル、建築面積612.26平方メートル、延床面積519.15平方メートル 建物構造 鉄骨造平屋立て 主な施設内容（構成施設の内容）ボランティア室（28.60平方メートル）、集会室（38.22平方メートル）、図書と映像の部屋（30.16平方メートル）、体育遊戯室（191.40平方メートル）、創作の部屋（38.58平方メートル）、事務室（31.83平方メートル）、他		

施設設置目的
児童に健全な遊びを与えて、その健康を増進し、及びその情操をゆたかにすることを目的として設置する。
管理・運営に関する基本理念、方針等
<p>(1) 地域児童の健全育成と子育て支援の拠点として、地域社会と協力連携しながら、児童をはじめ地域住民に親しまれる児童館とする。</p> <p>(2) 児童がいつでも自由に利用できる、安全で安心な遊び場としての機能を備えるとともに、児童に健全な遊びや情報の提供を行う。</p> <p>(3) 中学生・高校生については、ボランティア活動など、目的をもった活動の育成・支援を行い、地域社会と協力連携しながら、社会的活動の拠点としての機能を有する施設とする。</p> <p>(4) 大型児童センターとして、北区全体の児童が参加できる事業を盛り込んだ運営を行う。</p>

視 点	評価項目	評価指標	実績	評価 ※	評価コメント ※
市 民	利用者数	地域の児童が恒常的に来館しているか。イベントや行事等について北区全体からの参加があるか。	年間利用者数 25,351人 うち児童数 19,620人	B	年間利用者数が8.5%減少した。北区の全小学校から児童が来館した。
	広報	ホームページやセンターだより等で行事等の情報提供がされたか	センターだよりのHP掲載と発行 各小学校の全生徒への配布	A	区内全域の小学校、保育園等関係機関への配布により児童への周知に努めた。
	満足度	利用者(保護者)アンケートで「満足」が多数であるか	苦情はなく満足していた。	A	満足度は高かった。
	要望、苦情への対応	要望、苦情への対応が速やかにされたか	目立った苦情無し。対応マニュアルは整備されている。	A	要望があれば迅速に対応した。
財 務	管理経費の節減	管理経費の節減の取り組み、工夫が十分であるか	電気代は微増。水道代は微減。	B	無駄のない使用を心がけた。
業 務	仕様書等に定める事項の遵守	仕様書等に定める事項の遵守	仕様書に定める事項を遵守した。	B	適宜仕様書を確認しながら業務に取り組んだ。
	行事の実施	児童等を対象とした行事を計画どおり実施したか	確実に実施した。	A	児童の健全育成を意識した行事を行った。
	事故・災害発生時の対応	マニュアルの策定、訓練等の実施状況	12回実施した。	A	職員同士で連携を確認しながら行った。
人 材	職員研修の実施	内部研修の実施、外部研修への参加が十分であるか	20回延べ25人参加	B	積極的に参加し人材育成に努めた。
	労働基準の充足	労働関係法令の遵守	遵守した。	B	

**【評価基準】**

- A: 要求水準(評価指標)を達成し、かつその達成度・内容が優れている
- B: 要求水準(評価指標)が達成されている
- C: 要求水準(評価指標)が達成されていない

※評価について、「A」を付ける場合は「優れている点」を、「C」を付ける場合は「達成されていない点」を、「評価コメント」欄に明記してください。(評価指標が達成されているだけなら「B評価」で、その達成度や内容が優れていなければ「A評価」とはなりませんので、ご注意ください。)

**指定管理者記載欄(アピールしたい事項・未達成項目への改善策等)**

職員が、子どもたちの良い手本となるよう、職員、行事、来館対応、整理整頓などの質の向上に努めた。その効果があったか、苦情もなく、来館にも繋がっていると思う。昨年度から行事を丁寧に行う事を心掛けた為、定期的に行う行事は定着しつつあり、遠くの小学校や乳幼児親子の参加が増えた。子育て支援では、「BP(ベビープログラム)」を今年度から開始し、来館に繋がっている。地域組織活動を行うじどせんふぁみりークラブと児童センターが乳幼児親子を対象にお互いの得意分野を活かし、協力して行う行事も沢山の参加があった。「キタクパスクール」という行事も行い、充実した時間となり、父親同士の仲間作りに繋がった。更なる知識の向上の為に、来年度はもっと研修等に参加したい。

**所 管 課 に よ る 総 合 評 価 ( 所 見 )**

実際の児童利用者実績より、北区全域の児童利用されていることがわかる。また、北区のなかでも児童センターから遠い地域に向いて運動遊びや工作を行い、普段利用できない児童の健全育成を支援していた。そうした実績や取り組みから、北区全域をカバーする拠点大型児童センターとしての役割を果たしていたと考えられる。乳幼児親子の利用に関しては、行事の定着化や地域組織活動との連携等の工夫により、利用者数を増やしていた。また、日曜日や祝日も開館していることの強みを魅力的な行事の実施により活かしていた。非難訓練実施マニュアルの見直しも図り、有事の際に円滑に動けるよう職員間で確認を取りながら訓練を実施して災害に備えていた。